

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	認知症ケアの専門性向上の為、何を、どのように取り組み、どう生かすか。介護の質の均一化をどのように目指すのか。	グループホームの職員に求められている「良質なケアを実践できる力」を育てる。	グループホームにおける「職場訓練チェックシート」を作成する。これを用い、2か月毎に、自己評価、他者評価を行い、面談をその都度行い、「良質なケアを実践できる力」を育てる。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援の在り方。	医療連携体制を基本とし、精神面でも支援する。本人のみならず、家族、職員、他入居者も理解していく。	終末期を経た事例を勉強会を開催し、理解共有する。	6ヶ月
3	34	急変時、事故発生時の備え及び、職員の心構えが希薄。	全職員の救急救命講習受講。	施設内外において、全職員の救急救命講習受講計画の作成と、実施。	3ヶ月
4	35	夜間緊急時体制の整備不足。	夜間緊急時の職員対応体制の構築。地域住民の緊急時協力体制の構築。	夜間緊急時の対応フローチャートの作成。緊急時想定連絡ルートの訓練の実施。日頃から、地域住民との接触を密に行い、緊急時に協力が得られるようにする。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。